

問題用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市）

（労働生理）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（10点）

第1問 次の消化管に関する各文章の（ ）内の①～②から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

1. 食道は咽頭と胃を結ぶ長さ約 **25cm** の管である。食道が（①胸膜 ②横隔膜）を貫いて通る孔を食道裂孔という。
2. 胃に入った食物は（①蠕動運動 ②回転運動）で攪拌され、胃液の働きで消化される。
3. 小腸は胃から先、3つの部分に分けられ、十二指腸、（①盲腸 ②空腸）、回腸を通り、食物は大腸に至る。
4. 十二指腸に食物が入ると、消化管ホルモンにより、膵液、胆汁、腸液の分泌が（①抑制 ②促進）され、栄養素が分解、吸収される。
5. 大腸では栄養素の吸収はわずかで、主に（①水分 ②固形物）が吸収され、便を作る。

第2問 次の各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

1. （ ）は、尿を作る器官である。
2. （ ）とは、生物が生きていくために自分を守る仕組み（システム）のことである。
3. （ ）とは、免疫システムが特定の抗原に対し過剰に反応することである。
4. （ ）は、インスリンを分泌し、血糖の調整を行う。
5. （ ）は、成長ホルモンを分泌し、子どもの成長を促す作用がある。

【語 群】

肝臓	大腸	膵臓	アレルギー	腎臓	ホルモン	免疫
細胞群	下垂体前葉	甲状腺	副腎皮質	視床下部		

問題用紙

令和元年度 衛生管理者試験 (横浜市)

(船内衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の船内飲用水に関する文章中の()内の①～③から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

ヒトは、体重のわずか(1. ① 0.1～0.5 ② 0.5～1.0 ③ 1.0～1.5)%の水分が失われただけで水が飲みたくなり、(2. ① 10 ② 15 ③ 20)%を超えると生命現象に異常をきたし、(3. ① 10 ② 15 ③ 20)%を超えると渴死する。通常は、毎日約(4. ① 1 ② 2 ③ 3)ℓを必要とする。暑くて、発汗がはげしい時には、水分の排せつが(5. ① 3 ② 5 ③ 10)ℓに及ぶこともある。

第2問 次の物理的有害環境の管理に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. () 大きなレベルの騒音に長年暴露されていると、徐々に音が聞こえなくなる経年性難聴が起こる。
2. () 局所振動障害は、周囲の振動が局所的に集まり、その振動が作業者の身体に伝わって起こる障害である。
3. () 高温環境下で作業を行わせる場合は、労働時間を減少し、適正な休憩時間を入れて、労働負担の軽減に努める。
4. () 低温環境下で作業を行わせる場合は、循環機能が低下している者や高齢者は避ける。
5. () 赤外線の影響を受けやすい場所で作業を行う場合は、皮膚の炎症や皮膚がん、眼疾患をもたらす場合があるので十分に注意すること。

第3問 次の化学的有害物に関する文章中の()内の①～②から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

塗料や接着剤としてのトルエンやシンナー、油汚れの洗浄液などに用いられるトリクロエチレンなどは(1. ①水溶性 ②脂溶性)の有機化合物である。揮発性の強いものが多く、(2. ①速やかに ②徐々に)体内に吸収され血液によって(3. ①神経系 ②循環器系)に達して有害作用をもたらす。重金属類は、水銀や鉛や(4. ①鉄 ②クロム)などで、これらは粉じんや有機化合物になった(5. ①蒸気 ②液体)などの形で摂取され、特有の障害をもたらす。

問題用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市）
(食品衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(10点)

第1問 次の各文章に関係のある食中毒の菌またはウイルスの名称を下記の語群から
選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. () 毒素型でヒトや動物の腸管や土壌に分布する嫌気性菌。毒性は 100℃ 1～2
分で不活性化される。水分を含み pH4.6 以上で菌は増殖し、潜伏期間は 8～36
時間。
2. () 未加熱の二枚貝、感染している人の手を介して、あるいはその糞便や吐物を
通じて人に経口感染する。潜伏期間は 1～2 日で、主な症状は激しい下痢と
嘔吐がある。
3. () 感染型で熱に弱く低温には抵抗性を持つ。主な原因食品は肉、卵、牛乳の他、
イヌ、ネコ、ネズミの糞便に汚染された食品で、潜伏期間は 8～48 時間、
発生は夏期に集中する。
4. () 毒素型で熱に強く、産生毒素のエンテロトキシンは 100℃ 30 分に耐性がある。
主な原因食品は穀類、魚介類、菓子、卵、肉など多種多様にわたる。潜伏期間
は 3 時間と短い。
5. () 毒素型で菌の感染力や毒力が強く、産生するペロ毒素が腎臓や脳に重篤な
障害をきたすことがある。潜伏期間は 4～8 日と長く、原因食品の究明が
困難である。

【語 群】

- | | | |
|---------|-----------------|---------|
| ①腸炎ビブリオ | ②病原性大腸菌 O-157 | ③ボツリヌス菌 |
| ④サルモネラ | ⑤黄色ブドウ球菌 | ⑥ノロウイルス |
| ⑦セレウス菌 | ⑧カンピロバクター・ジェジュニ | |

第2問 次の細菌性食中毒の手当てに関する文章中の()内に、下記の語群から適切な語句を選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

細菌性食中毒で嘔吐や下痢が激しい場合は(1.)を防止するために、スポーツドリンクまたは(2.)を、(3.)を誘発しないように少量づつ頻回に服用する。

下痢は、細菌や毒素を体外へ排出しようとする生理的作用であるから、(4.)は原則的に用いない。

細菌性食中毒は軽症のことが多く、(5.)を必要とする例は少ない。また(5.)は原因菌の耐性を促すために安易に使用しない方がよい。判断・手当てともに医療通信の指示を仰ぐのがよい。

【語群】

- ①ソリターT顆粒3号 ②脱水 ③下痢 ④嘔吐 ⑤止しゃ剤
⑥抗生剤 ⑦感染 ⑧精製水 ⑨制吐剤 ⑩生理食塩水

問題用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市）
(疾病予防)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。
(1点×6＝6点)

1. () 2000年にスタートした日本人の健康寿命を延ばす国民健康づくり「健康日本21」では睡眠・休養とストレスも、生活習慣病予防の要因として重視している。
2. () 運動療法は、動脈硬化学会のガイドラインで1日30分以上、週3回以上の有酸素運動をすすめている。
3. () 糖尿病の主なタイプはⅠ型とⅡ型が大部分を占め、Ⅰ型が95%を占める。
4. () Ⅰ型糖尿病は大部分が成人に発症する。
5. () 糖尿病の治療は、食事療法、運動療法が基本である。
6. () 高血圧症は日本人の生活習慣病中、糖尿病について2番目に多い。

第2問 次の感染症に関する各文章中の()に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。
(1点×4＝4点)

1. () は、日本人の15～20%が既感染である。日本の罹患率、死亡率は先進国ではずばぬけて高い。高齢者は大部分を占めている。
2. () は、突然、38度以上の高熱に襲われ、強い咳、呼吸困難から肺炎や急性呼吸促迫症候群(ARDS)を起こし、重症の場合は死に至る。
3. () は、感染経路は主に血液で輸血や血液製剤の使用、注射器の使い回しなどである。
4. () は、A型、B型、C型とあり、臨床的にはA型とB型が重要である。症状としては、高熱、咳、倦怠感などが多い。

【語 群】

C型肝炎 口腔内感染症 SARS 肺結核 寄生虫感染症 インフルエンザ

(疾病予防)

第3問 次のA群の感染症と最も関係のあるものをB群から選び、直線で結べ。

(1点×5＝5点)

【A群】

条虫症 ・
吸虫症 ・
顎口虫症 ・
ラッサ熱 ・
アニサキス症 ・

【B群】

・ 野ネズミ
・ 牛肉・豚肉
・ サバ・イカ
・ サワガニ
・ 淡水魚

問題用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市）
(保健指導)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。

(1点×6=6点)

1. () 全血量の 1/3、約 1500ml の出血は死をまねく。
2. () 傷口が著しく汚れていたり、挫滅したような場合は縫合閉鎖を無理に行わず、開放創のまま治癒させる。
3. () 怪我によってできた傷は細菌が感染する場合とそうでない場合があり、必ずしも抗生剤を服用しなくてもよい。
4. () 抜糸は、おおむね 1 ヶ月後に行う。
5. () 捻挫の処置法は、関節の整復、固定、冷却である。
6. () 捻挫でも脱臼でも、関節内外の出血の多少が治り方に影響する。

第2問 次の文章で、左記の腹痛の位置から考えられる () に入る最も適切な病名を下の語群から選び、その病名を回答欄に記入せよ。

(1点×4=4点)

24 時間以上続く腹痛

- ・上腹部中央・・・・・・・・(1.)、胃・十二指腸潰瘍
- ・上腹部右寄り・・・・・・・・(2.)、胆のう炎
- ・下腹部全体、下痢・・・・(3.)
- ・下腹部右寄り・・・・・・・・(4.)、憩室炎、尿管結石

【語 群】

胆石 膵炎 急性虫垂炎 腸炎

第3問 次の胸痛を起こす病気に関する説明文から考えられる、最も適切な病名を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

1. 交通事故で胸部を打撲し、胸痛と呼吸困難をおこした。()
2. 海外旅行で長時間飛行機に乗り、成田に到着後、突然の胸痛、呼吸困難をおこし、救急入院した。()
3. 糖尿病を長期間治療してきたが、突然、前胸部の締め付けられるような胸痛が繰り返し、血圧が低下した。()
4. 高血圧で治療中の70歳男性が突然、背中の痛みを訴え、救急入院し、CT 造影検査で太い血管の拡張がみられた。()
5. 右季肋部から上腹部にかけての腹痛と背部痛に合併して発熱、黄疸も出てきた。()

【語 群】

- | | | |
|----------|------------|-------------|
| A 急性心筋梗塞 | B 急性胆嚢炎 | C 解離性胸部大動脈瘤 |
| D 外傷性気胸 | E 急性肺血栓塞栓症 | |

(薬物)

問題用紙

令和元年度 衛生管理者試験 (横浜市)

(薬物)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(5点)

第1問 次のA群について、最も関連のあるものをB群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。
(0.5点×5=2.5点)

【A群】

- (ア) 消化性潰瘍用剤 ()
- (イ) 気管支拡張剤 ()
- (ウ) 止血剤 ()
- (エ) 鎮痙剤 ()
- (オ) 抗ウィルス剤 ()

【B群】

- ①タミフルカプセル
- ②タケプロン OD錠
- ③ブスコパン錠
- ④トランサミン錠
- ⑤テオドール錠

第2問 次の文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。
(0.5点×5=2.5点)

1. () 薬の種類は内服薬、外用薬、注射薬の3つに分類される。
2. () Augsberger 式は、小児量 = (年齢 × 5 + 20) / 100 × (大人量) である。
3. () 年を取ると酵素活性が低下するので、高齢者はうまく薬を代謝できない。
4. () 大半の薬、特に水溶性の薬とその代謝産物は主として肝臓から尿中に排泄される。
5. () 時間が経てば薬物は代謝されていくので血中濃度は徐々に上昇する。

問題用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市）
(労働衛生法規)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(5点)

第1問 次の文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。

(1点×5＝5点)

1. () 船員法第82条の2により、船舶所有者は、遠洋区域又は近海区域を航行区域とする総トン数3000トン以上の船舶で最大乗組員100人以上の船舶には衛生管理者を乗組ませなければならない。
2. () 船員労働安全衛生規則第40条の2第4項により、船舶所有者は、少なくとも5年に1回、飲用水のタンク、当該タンクに付属する管系等の洗浄を行わなければならない。
3. () 船員法第86条により、船舶所有者は、年齢18年未満の船員を午後8時から翌日の午前5時までの間において作業に従事させてはならない。
4. () 船員法施行規則第54条により、船舶所有者は、船舶（平水区域を航行区域とする船舶等を除く。）に国土交通省監修「日本船舶医療便覧」を備え置かななければならない。ただし、乙種衛生用品表が適用される船舶の場合は、国土交通省監修「小型船医療便覧」をもってこれに代えることができる。
5. () 船員労働安全衛生規則第13条により、船舶所有者は、船内安全衛生委員会における議事の概要について、その都度記録を作成し、これを主たる船員の労務管理の事務を行う事務所に、その写しを船内に、それぞれ3年間備え置かななければならない。

答案用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市） 1 時間目（9:00～10:30）

受 験
番 号

（労働生理）

第 1 問

1. ②	2. ①	3. ②	4. ②	5. ①
------	------	------	------	------

第 2 問

1. 腎臓	2. 免疫	3. アレルギー	4. 脾臓	5. 下垂体前葉
-------	-------	----------	-------	----------

（船内衛生）

第 1 問

1. ②	2. ①	3. ③	4. ②	5. ③
------	------	------	------	------

第 2 問

1. ×	2. ×	3. ○	4. ○	5. ×
------	------	------	------	------

第 3 問

1. ②	2. ①	3. ①	4. ②	5. ①
------	------	------	------	------

答案用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市） 1 時間目（9:00～10:30）

受 験 番 号	
------------	--

（食品衛生）

第 1 問

1. ③	2. ⑥	3. ④	4. ⑤	5. ②
------	------	------	------	------

第 2 問

1. ②	2. ①	3. ④	4. ⑤	5. ⑥
------	------	------	------	------

.....

答案用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市） 2時間目（10:40～12:10）

受験
番号

（疾病予防）

第1問

1. ○	2. ○	3. ×	4. ×	5. ○
6. ×				

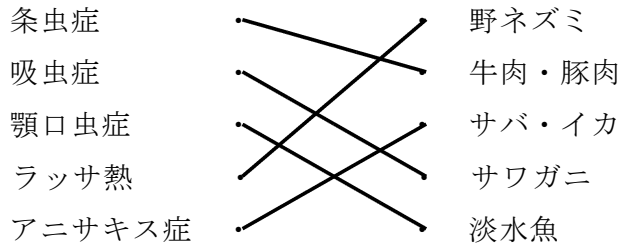
第2問

1. 肺結核	2. S A R S	3. C型肝炎	4. インフルエンザ
--------	------------	---------	------------

第3問

【A群】

【B群】



（保健指導）

第1問

1. ○	2. ○	3. ×	4. ×	5. ×
6. ○				

第2問

1. 膵炎	2. 胆石	3. 腸炎	4. 急性虫垂炎
-------	-------	-------	----------

答案用紙

令和元年度 衛生管理者試験（横浜市） 2時間目（10:40～12:10）

受験
番号

（保健指導）

第3問

1. D	2. E	3. A	4. C	5. B
------	------	------	------	------

（薬物）

第1問

ア. ②	イ. ⑤	ウ. ④	エ. ③	オ. ①
------	------	------	------	------

第2問

1. ○	2. ×	3. ○	4. ×	5. ×
------	------	------	------	------

（労働衛生法規）

第1問

1. ×	2. ×	3. ○	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

問題用紙

令和2年度 衛生管理者試験（神戸市）

(労働生理)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(10点)

第1問 次の腎臓に関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

1. 腎臓の外側を皮質部というが、ここに（ ）があり、毛細血管が入り込み、血液の濾過をしている。
2. 腎臓は尿を作る器官である。いったん濾過された原尿は150 Lにも達するが、この尿は（ ）で再吸収され、最後は約1.5 Lの尿になる。
3. 腎臓で水分量を調整しているのは主に（ ）から出ている抗利尿ホルモンのバゾプレッシンである。
4. 腎臓は赤血球の産生を調節する（ ）というホルモンを分泌している。
5. 腎臓は血圧を調節する（ ）というホルモンを分泌している。

【語 群】

尿細管 レニン 下垂体後葉 エリスロポエチン 糸球体

第2問 次の各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

1. 神経細胞には神経突起があつて、両者はまとめて（ ）と呼ばれる。
2. （ ）は、脳の最下部にあり、心臓、呼吸、血管運動など生命に極めて重要な中枢の存在する場所である。
3. （ ）は、脳の後下方にあり、歩行や運動の際の平衡をつかさどっている。他の脳と連絡している。
4. （ ）は、他の脳と連絡している。動眼神経の中枢がある。
5. （ ）は、性中枢、自律神経中枢、食中枢、体温中枢などがあり、生命の維持に重要な役割を担っている。怒り、喜び、恐れ、悲しみなどの情緒機能もある。

【語 群】

ニューロン シナプス 延髄 大脳 小脳 間脳 中脳 脊髄

問題用紙

令和2年度 衛生管理者試験(神戸市)

(船内衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の環境測定に関する各文章中の()内の①～③から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 湿度の測定で最も基本的な方法は、乾球温度計と湿球温度計からなる(①アウグスト乾湿度計 ②アスマン通風乾湿度計 ③毛髪製湿度計)である。
2. 正常な酸素濃度は(①25% ②21% ③18%)である。
3. 飲料水の残留塩素の測定単位は(①% ②‰ ③ppm)である。
4. 騒音の測定単位は(①dB ②dB(A) ③‰)である。
5. 有害ガスの測定にあたっては、検知管の種類、有効期限を確認するとともに、(①吸引時間 ②吸引角度 ③吸引温度)を守らなければならない。

第2問 次の有害物による障害の防止に関する各文章中の()内の①～②から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

- ・取り扱う化学物質の有害性がどのような性質を持つのか事前に調査確認を行うことが重要で、特に(1. ①液化 ②気化)しやすい有機溶剤や、腐食・(2. ①刺激 ②酸化)性物質は要注意である。
- ・取り扱う前に、乗組員に対して有害性と作業上の注意を説明し理解させ、必要に応じて(3. ①中和 ②防護)措置や応急措置がとれるようにしておく。
- ・常時有害物を扱う者は、(4. ①急性 ②慢性)中毒になる恐れがあるため、継続的に医師の診察を受ける必要がある。
- ・(5. ①中毒 ②感染)が起こった場合に、早期に的確な対処法がとれるよう備えておく必要がある。

第3問 次のA群の有害環境に関連する船内作業の例として、最も適切なものをB群から
選び、直線で結びなさい。(1点×5＝5点)

【A群】

騒音 ・
振動 ・
高温 ・
低温 ・
電磁波 ・

【B群】

・ 機関室、ボイラー室、調理室、炎天下甲板作業
・ レーダー・通信設備付近作業、ガス溶接、測定機器
・ スケーリング・マシン、チップングハンマー、グラインダー作業
・ 主機関付近・タンカーのポンプルーム作業、錆落とし作業
・ 寒冷時甲板作業、冷凍庫内作業

問題用紙

令和2年度 衛生管理者試験(神戸市)
(食品衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(10点)

第1問 次の食品と栄養素に関する各文章中の()内に、下記の語群から適切な語句を選び、その語句を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

- ・(1.)に含まれる脂肪酸には、動物性脂肪に多い飽和脂肪酸、植物に多い不飽和脂肪酸などがある。飽和脂肪酸は(2.)や(3.)など熱帯植物の油脂にも多く含まれる。
- ・(4.)は単一の食品としてはあらゆる栄養素を含み、吸収もよく卵とともに栄養価の高い食品で重要なカルシウム源となっている。
- ・(5.)は副食物として利用される草木植物の総称である。ミネラルやビタミン、食物繊維が多いので栄養学的に重要である。1日に350g以上摂取するのが望ましい。

※2. 及び3. は順不同

【語 群】

油脂類	アミノ酸	バター	ココナッツ油	ヤシ油
魚介類	牛乳	米	果物	野菜類

第2問 次の食中毒に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. () 食中毒は、細菌性食中毒が約99%を占める。
2. () サルモネラ食中毒は、熱に弱く、低温には抵抗性を持つ。
3. () 黄色ブドウ球菌の原因には、ほとんど食品はない。
4. () 化学毒による食中毒は、日常的な食品による急性なものではなく、公害病として社会問題を起こすような慢性的なものが多い。
5. () ノロウイルス、ロタウイルスは、ウイルス性食中毒に属する。

問題用紙

令和2年度 衛生管理者試験（神戸市）
(疾病予防)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の消化性潰瘍に関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から
選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

胃粘膜から生理的に分泌される(1.)や(2.)を含む胃液が何らかの機序により、胃・十二指腸粘膜を(3.)し、その結果潰瘍が生じる。神経の緊張を強いられる仕事などでも、潰瘍発症に影響があり、心身症の一つともいわれている。近年は(4.)や(5.)の影響が潰瘍発症のもっとも多い要因であることが示されており、消化性潰瘍の予防においてはこれらの要因の除去が重視されている。

※1. 及び2. は順不同

※4. 及び5. は順不同

【語群】

- ① レプチン ② 塩酸 ③ ペプシン ④ 酸化 ⑤ 自己消化
⑥ PTSD ⑦ ヘリコバクタ・ピロリ菌 ⑧ 乳酸菌
⑨ ミュータンス菌 ⑩ アルコール ⑪ 非ステロイド系鎮痛剤

第2問 次の感染症に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を
回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

1. () 感冒（かぜ）は、肺炎の原因になることはない。
2. () コロナウイルスは、粒子が小さく軽いため、飛沫感染や接触感染で感染する。
3. () 鳥インフルエンザの、ヒトからヒトへの感染は希である。
4. () インフルエンザの治療薬は、発症12時間以内の投薬が勧められている。
5. () インフルエンザの合併症では、小児の脳炎・脳症が注目され、高齢者では肺炎が多い。

第3問 次の各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。

(1点×5＝5点)

1. () 高尿酸血症は放置すると、痛風発作、尿路結石、腎機能障害を来す。
2. () 糖尿病が進行すると、唾液過多、尿が少ない、体重増加、高揚感などの症状が現れる。
3. () クラミジア感染症は、男性では尿道炎、女性では卵管炎を起こし、日本では性感染症の中で最も多くなっている。
4. () 肥満により肥大した脂肪細胞からTNF α が分泌され、高血圧を促進する。
5. () 1996年に米国のハーバード大学が発表した疫学調査によると、がんの原因はタバコが30%を占める。

問題用紙

令和2年度 衛生管理者試験（神戸市）

(保健指導)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の外傷に関する文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. () 頭部外傷受傷から2か月経過し、認知症の症状が出てきた場合は慢性硬膜下血腫を第一に疑い、MRI検査を受ける。
2. () 四肢の動脈出血の有効な止血法は出血部の末梢側を縛り止血する。
3. () 頭蓋骨骨折が認められた場合は、脳挫傷や頭蓋内血腫などの頭蓋内病変を伴うことが多いので、CT検査が必要である。
4. () 外傷時の異物はできるだけ取り除き、汚染創の洗浄は通常の飲用水は滅菌水ではないので使用してはいけない。
5. () 胸部の下部の打撲外傷では肋骨骨折・気胸のほかに腹部の出血にも注意が必要である。

第2問 発熱を主訴とする病気（高熱が一日中続く場合）について、A群の症状から考えられる病名をB群から選び、直線で結びなさい。(1点×6=6点)

【A群】

下痢、発疹、徐脈 ・
右上腹部痛、黄疸 ・
咳、痰、胸痛 ・
頭痛、嘔吐、意識障害 ・
腹部全体の痛み ・
高温多湿下の暴露 ・

【B群】

・熱射病
・腹膜炎
・腸チフス
・肺炎
・胆のう炎
・髄膜炎

第3問 次の各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。

(1点×4＝4点)

1. () 溺水者の応急処置は意識の状態と呼吸状態を迅速に観察し、人工呼吸の開始、また心臓が止まっている場合は同時に心臓マッサージを行うことが重要である。
2. () 熱中症とは、高温環境下で体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能が破綻する等して発症する障害の総称である。
3. () 溺水者が蘇生により息を吹き返した後は吐物等による窒息を防ぐため回復体位を取らせる。
4. () 死の判定は医療通信の指示のもとに、自動呼吸の完全な停止だけを確認して判定する。

(薬物)

問題用紙

令和2年度 衛生管理者試験（神戸市）

(薬物)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(5点)

第1問 次のA群について、最も関連のあるものをB群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。
(0.5点×5=2.5点)

【A群】

- (ア) トラベルミン配合錠 ()
- (イ) クラビット錠 ()
- (ウ) セルシン錠、ホリゾン錠 ()
- (エ) アスピリン末 ()
- (オ) カプトプリル錠 ()

【B群】

- ① 血圧降下剤
- ② 合成抗菌剤
- ③ 鎮暈剤
- ④ 解熱鎮痛消炎剤
- ⑤ 催眠鎮静剤及び抗不安薬

第2問 次の文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。
(0.5点×5=2.5点)

1. () アナフィラキシーでよくみられる症状として、じんましん、呼吸困難、腹痛、嘔吐、下痢、血圧上昇を伴うショック等がある。
2. () 薬の保管温度で室温とは、「15～25℃」のことである。
3. () 皮膚と筋肉層の間の皮下組織に薬液を注入する方法を筋肉内注射という。
4. () 薬の相互作用とは複数の薬を服用することによって薬の吸収、分布、代謝、排泄の過程に影響を及ぼして、作用部位における薬物濃度を変化させることをいう。
5. () 狭心症治療剤のニトロペン舌下錠は狭心症に対し投与後、数時間で効果のあらわれない場合には、更に追加投与する。

問題用紙

令和2年度 衛生管理者試験（神戸市）

（労働衛生法規）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（5点）

第1問 次の各文章中の（ ）内の①～③から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

1. 船員法第87条第2項により、船舶所有者は出産後（①4 ②8 ③12）週間を経過しない女子を船内で使用してはならない。
2. 船員労働安全衛生規則第34条第1項により、船舶所有者は、居住設備、衛生設備その他ねずみ族又は虫類のひそみやすい場所については、（①3月に1回 ②6月に1回 ③毎年1回）以上、薬品によりねずみ族又は虫類を駆除する措置を講じなければならない。
3. 船員労働安全衛生規則第40条の2第3項により、船舶所有者は、少なくとも（①1月に1回 ②3月に1回 ③6月に1回）飲用水に含まれる遊離残留塩素の含有率についての検査を行わなければならない。
4. 船員法施行規則56条第2項において、健康証明書の有効期間が航海中に満了したときは、当該期間が満了した日から起算して（①1月 ②3月 ③6月）を経過する日又はその航海の終了する日のいずれか早い日までの間、健康証明書は有効であるとされている。
5. 通行の安全のため、船員労働安全衛生規則第19条により、船舶所有者は、船外との通行は、げん梯又は手すり及び踏みさんを施した幅（①20 cm ②40 cm ③60 cm）以上の歩み板によらせなければならない。

答案用紙

令和2年度 衛生管理者試験（神戸市） 1時間目（9:00～10:30）

受験
番号

（労働生理）

第1問

1. 糸球体	2. 尿細管	3. 下垂体後葉
4. エリスロポエチン	5. レニン	

第2問

1. ニューロン	2. 延髄	3. 小脳
4. 中脳	5. 間脳	

（船内衛生）

第1問

1. ①	2. ②	3. ③	4. ②	5. ①
------	------	------	------	------

第2問

1. ②	2. ①	3. ②	4. ②	5. ①
------	------	------	------	------

第3問

【A群】	【B群】
騒音	機関室、ボイラー室、調理室、炎天下甲板作業
振動	レーダー・通信設備付近作業、ガス溶接、測定機器
高温	スケーリング・マシン、チップングハンマー、グラインダー作業
低温	主機関付近・タンカーのポンプルーム作業、錆落とし作業
電磁波	寒冷時甲板作業、冷凍庫内作業

答案用紙

令和 2 年度 衛生管理者試験（神戸市） 1 時間目（9:00～10:30）

受 験
番 号

（食品衛生）

第 1 問

1. 油脂類	2. ココナッツ油	3. ヤシ油
4. 牛乳	5. 野菜類	

※ 2. 及び 3. は順不同

第 2 問

1. ×	2. ○	3. ×	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

.....

答案用紙

令和2年度 衛生管理者試験（神戸市） 2時間目（10:40～12:10）

受験
番号

（疾病予防）

第1問

1. ②	2. ③	3. ⑤	4. ⑦	5. ⑪
------	------	------	------	------

※1. 及び2. は順不同
※4. 及び5. は順不同

第2問

1. ×	2. ×	3. ○	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

第3問

1. ○	2. ×	3. ○	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

（保健指導）

第1問

1. ○	2. ×	3. ○	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

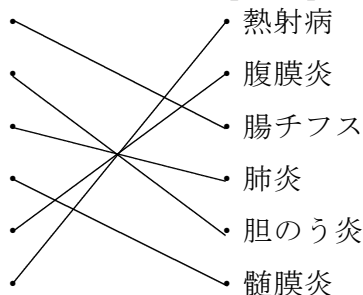
第2問

【A群】

下痢、発疹、徐脈
右上腹部痛、黄疸
咳、痰、胸痛
頭痛、嘔吐、意識障害
腹部全体の痛み
高温多湿下の暴露

【B群】

熱射病
腹膜炎
腸チフス
肺炎
胆のう炎
髄膜炎



第3問

1. ○	2. ○	3. ○	4. ×
------	------	------	------

答案用紙

令和 2 年度 衛生管理者試験（神戸市） 2 時間目（10:40～12:10）

受 験 番 号	
------------	--

（薬 物）

第 1 問

ア. ③	イ. ②	ウ. ⑤	エ. ④	オ. ①
------	------	------	------	------

第 2 問

1. ×	2. ×	3. ×	4. ○	5. ×
------	------	------	------	------

.....

（労働衛生法規）

第 1 問

1. ②	2. ③	3. ①	4. ②	5. ②
------	------	------	------	------

.....

令和3年度 衛生管理者試験（横浜市）
(労働生理)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(10点)

第1問 次の感覚器に関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 嗅覚の受容体は（ ）の最上部にある嗅細胞である。
2. 内耳には平衡感覚に関与する前庭と（ ）がある。
3. 舌には味を刺激として受け止める（ ）が分布しており、いろいろな種類の味を感受している。
4. 骨膜や腱や関節などには求心性（知覚）神経が分布している。筋肉にも筋紡錘という感覚器があり、手足の位置や物の重量感、触れるものの硬さなどを感じる。この感覚を（ ）という。
5. 眼球の中で光を感じるのは網膜で、ここで神経細胞の興奮が視神経により（ ）の視覚中枢に伝えられ、物の形や色が認識される。

【語 群】

①鼻腔 ②味蕾 ③半規管 ④深部感覚 ⑤大脳

第2問 次の各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 心臓の内部は4つの部屋に分かれ、上の2つを左右の①（ ）、下の2つを左右の②（ ）という。
2. 一般に血圧と言えば③（ ）の圧を言う。④（ ）で測るのが一般的である。
3. 安静時の1回の呼吸で肺に出入りする空気量を1回換気量といい、約⑤（ ）である。

【語 群】

心房	心室	50/分前後	60/分前後	70/分前後		
動脈	静脈	上腕	下腕	400ml	500ml	600ml

令和3年度 衛生管理者試験(横浜市)
(船内衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の作業曲線に関する文章中の()内の①～②から、正しいものを一つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

労働者が作業できる量(生産量)は時刻によって変化する。作業能力は(1. ①性格的な ②生理的な)リズムにしたがい、作業環境、労働者の(2. ①意志 ②年齢)、練習、慣れ、疲労などが影響する。

午前も午後も、仕事の始めに低い、時間とともにだんだん高くなり、最高に達してまた低くなる。午後は午前と比べると(3. ①早く ②遅く)最高に達し、その高さは(4. ①高い ②低い)。

したがって、できれば(5. ①午前は創造的な、午後は慣れた ②午前は慣れた、午後は創造的な)仕事を行うのがよい。

第2問 次の作業環境に関する文章中の()に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

目が暗やみに慣れることが(1.)である。そのためには、少なくとも(2.)分が必要である。(3.)所から(4.)倉内に急いで入って転落死する事故が多いので注意が必要である。夜間の船橋当直では、海図室、計器の照明などを、できるだけ低(5.)にする必要がある。光のもれやすい海図室との出入口などは完全に光をさえぎる。

【語群】

A : 照度	B : 45～60	C : 明順応	D : 暗い
E : 15～30	F : 暗順応	G : 明るい	H : 輝度

第3問 業務上の疾病はA群に示すように「災害性疾病」と「職業性疾病」の二種類に大別されるが、B群に示す疾病はどちらに分類されるか。A群に相当するものを全てB群から選び、直線で結べ。(1点×5＝5点)

【A群】

【B群】

災害性疾病・

職業性疾病・

・長年の騒音暴露による騒音性難聴

・異物侵入による眼疾患

・転落事故による負傷

・潜水病

・酸素欠乏症

令和3年度 衛生管理者試験(横浜市)

(食品衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(10点)

第1問 次の食中毒に関する各文章中の()に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

食中毒は、(1.)、自然毒による食中毒、化学毒による食中毒、(2.)に分類され(1.)がその約60%を占める。(1.)は食品中にある程度以上の菌量が必要であるが、赤痢や(3.)などの感染症は、微量の菌で発病し、また、ヒトからヒトへ感染するなど、食中毒と大きな違いがある。また、(1.)は発生の機序により感染型と(4.)型に分けられる。感染型は原因菌が(5.)消化管に侵入して増殖し、様々な腸炎症状を起こし潜伏期間は平均6-8時間である。(4.)型には、食品中に増殖した菌の産生毒を摂取する場合と、細菌が腸管に侵入後そこで増殖して毒素を産生する場合がある。感染型に比べて潜伏期間は短い。一方、(2.)の潜伏期間は1-2日で激しい下痢と嘔吐があり、感染性が非常に強い。

【語 群】

細菌性食中毒	急性胃腸炎	ウイルス性食中毒	神経障害	コレラ
寄生虫	毒素	異物の混入	下部	中間宿主

第2問 次の栄養素に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 三大栄養素といわれる栄養素は、炭水化物、たんぱく質、ビタミンである。
2. 魚介類に多く含まれる多価不飽和脂肪酸(EPA,DHA)はn-3系脂肪酸である。
3. 食物繊維は、人の小腸内の消化酵素で分解され全て吸収される。
4. 脂溶性ビタミンには、ビタミンA、ビタミンC、ビタミンD、ビタミンKがある。
5. カルシウムは乳製品、魚介類に多く含まれ、骨や歯を形成し、神経の興奮を抑制する働きがある。

令和3年度 衛生管理者試験（横浜市）

(疾病予防)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の食生活と生活習慣に関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×10=10点)

- 2000年にスタートした国民の健康づくり対策の「健康日本21」では生活習慣病予防における栄養教育として次の3つの予防法をあげている。
- 一次予防には(1.) (2.) (3.)などの生活習慣の見直し、(4.)の改善、疾病発生予防の(5.)を挙げている。
- 二次予防には健診などによる生活習慣病の(6.) (7.)と(8.)の教育がある。
- 三次予防には適切な治療による(9.)、(10.)、社会復帰、リハビリテーションなどの教育があげられている。

※1～3は順不同

※6～8は順不同

※9～10は順不同

【語群】

- ①栄養 ②運動 ③睡眠 ④喫煙 ⑤飲酒 ⑥環境 ⑦意識 ⑧宣伝
⑨教育 ⑩正しい認識 ⑪早期発見 ⑫早期治療 ⑬セカンドオピニオン
⑭合併症予防 ⑮疾病に対する知識 ⑯薬剤に対する知識
⑰疾病悪化の防止 ⑱再発予防 ⑲疾病の完治

第2問 次の生活習慣病に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 高尿酸血症は放置すると痛風発作、尿路結石、腎機能障害を来す。
2. 脂肪肝の原因はいろいろとあるが、大部分が感染症によるものである。
3. COPDは喫煙という生活習慣との関連で生じる、呼吸器の生活習慣病である。
4. 脳内出血は、高血圧性脳内出血が多く、突発的に起こり、片麻痺、失語、意識障害などがおこる。
5. 消化性潰瘍は、神経の緊張を強いられる仕事などでも、潰瘍発症に影響があるが、心身症のひとつとは言われていない。

令和3年度 衛生管理者試験(横浜市)

(保健指導)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の自動体外式除細動器(AED)使用に関する各文章中の()に入る適切な語句を下の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. AEDの電源を入れる。
2. 電極パッドを貼る。
3. AEDが心電図を解析して、(イ)が必要であるか否かを判断するのを待つ。 AEDからの音声メッセージに従って操作する。
4. (ロ)という音声メッセージがあれば、誰もが傷病者に触れていないことを確認する。
5. (ハ)の音声メッセージがあったときは、傷病者から離れて、電気ショックのボタンを押す。(ニ)であれば、1分間の心肺蘇生法を行ってから、再度AEDの音声メッセージに従う。
6. AEDは電気ショックが必要なければ、傷病者の気道、呼吸、循環(脈拍)を確認するよう音声メッセージを出す。これらを確認し、必要に応じて人工呼吸、(ホ)を行う。

【語群】

- | | | |
|--------|--------------|----------|
| ①脈拍不触知 | ②「電気ショックが必要」 | ③心臓マッサージ |
| ④「離れて」 | ⑤除細動 | |

第2問 次の熱中症に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を
回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 湿度が高い場合は高温でなくても、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、熱中症を発症することがある。
2. I度の熱中症ではめまい、失神、筋肉痛などの症状が出ることが多いが、この段階では現場や家庭で応急処置が可能である。
3. 体力のある若い人は、夏の暑い環境中、運動をする場合、熱中症の症状で意識障害が出て現場で体を冷やし、様子を見ることとし、熱が出るようであれば、病院へ搬送する。
4. 頭痛、不快感、吐き気、虚脱感はII度の熱中症であり、病院搬送は考えなくてよい。
5. 高い体温、けいれん、意識障害はIII度の熱中症であり、集中治療室での治療が必要性的な重症といえる。

第3問 次の腹痛の症状により推定される病名について、()に入る適切な語句を下
の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

24時間以上続く腹痛

- ・上腹部中央・・・(1.)、胃・十二指腸潰瘍
- ・上腹部右寄り・・・(2.)、胆のう炎
- ・下腹部全体、下痢・・・(3.)
- ・下腹部右寄り・・・(4.)、憩室炎、尿管結石
- ・そけい部腫瘍・・・(5.)

語群

①膀胱炎 ②胆石 ③そけいヘルニア嵌頓 ④腸炎 ⑤急性虫垂炎

(薬物)

令和3年度 衛生管理者試験（横浜市）

(薬物)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(5点)

第1問 次のA群について、最も関連のあるものをB群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。
(0.5点×5=2.5点)

【A群】

- (ア) ナウゼリン錠
- (イ) トランサミン錠
- (ウ) クラビット錠
- (エ) バファリン錠
- (オ) トラベルミン配合錠

【B群】

- ①解熱鎮痛消炎剤
- ②止血剤
- ③合成抗菌剤
- ④鎮暈剤
- ⑤消化器官用薬

第2問 次の薬物に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。
(0.5点×5=2.5点)

1. 注射薬と内用薬の副腎皮質ホルモン剤は、医師の助言により施用する。
2. 催眠鎮静剤及び抗不安剤であるジアゼパム製剤は船長の証明なしで購入できる。
3. 希ヨードチンキは皮膚の創傷の消毒や口腔粘膜の消毒に用いられるが、外用のみに使用し、内服してはいけない。
4. トラベルミン配合錠は緑内障患者の乗り物酔いには使用しない。
5. 日本薬局方生理食塩液は皮膚・創傷面の洗浄に使用するが、開封後の残液はもったいないので、保存して次回使用してもよい。

令和3年度 衛生管理者試験（横浜市）

（労働衛生法規）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（5点）

次の船員の労働衛生法規に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を

回答欄に記入せよ。

（1点×5＝5点）

1. : 船舶所有者は、河川の水又は港内の海水を調理用又は浴用に使用してはならない。
2. : 船舶所有者は、年齢18年未満の船員を午後8時から翌日の午前5時までの間において作業に従事させてはならない。ただし、国土交通省令の定める場合において午前零時から午前5時までの間を含む連続した9時間の休息をさせるときは、この限りでない。
3. : 船舶所有者は、いかなる場合も出産後8週間を経過しない女子を船内で使用してはならない。
4. : 船内において衛生に関する事項に関して統括管理をするのは衛生管理者である。
5. : 船舶所有者は、少なくとも2年（船舶安全法第10条第1項ただし書に規定する船舶にあつては、3年）に1回、飲用水のタンク、当該タンクに付属する管系等の洗浄を行わなければならない。ただし、最後に洗浄を行った日から当該期間を経過した日に、船舶が航海中であり、又は外国の港にある場合は、当該日から6月以内に洗浄を行えばよい。

答案用紙

令和 3 年度 衛生管理者試験（横浜市） 1 時間目（9:00～10:30）

受 験 番 号	
------------	--

（労働生理）

第 1 問

1. ①	2. ③	3. ②	4. ④	5. ⑤
------	------	------	------	------

第 2 問

① 心房	② 心室	③ 動脈
------	------	------

④ 上腕	⑤ 500ml
------	---------

（船内衛生）

第 1 問

1. ②	2. ①	3. ①	4. ②	5. ①
------	------	------	------	------

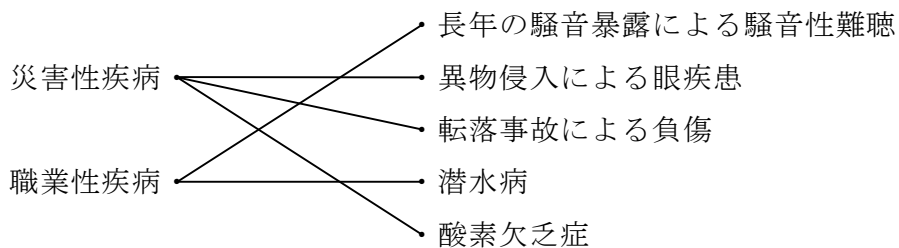
第 2 問

1. F	2. E	3. G	4. D	5. A
------	------	------	------	------

第 3 問

【A 群】

【B 群】



答案用紙

令和3年度 衛生管理者試験（横浜市） 1時間目（9:00～10:30）

受験 番号	
----------	--

（食品衛生）

第1問

1. 細菌性食中毒	2. ウイルス性食中毒	3. コレラ
-----------	-------------	--------

4. 毒素	5. 下部
-------	-------

第2問

1. ×	2. ○	3. ×	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

受験 番号	
----------	--

（疾病予防）

第1問

1. ①	2. ②	3. ④	4. ⑥	5. ⑨
6. ⑪	7. ⑫	8. ⑭	9. ⑰	10. ⑱

※1～3は順不同

※6～8は順不同

※9～10は順不同

第2問

1. ○	2. ×	3. ○	4. ○	5. ×
------	------	------	------	------

.....

（保健指導）

第1問

イ. ⑤	ロ. ④	ハ. ②	ニ. ①	ホ. ③
------	------	------	------	------

第2問

1. ○	2. ○	3. ×	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

第3問

1. ①	2. ②	3. ④	4. ⑤	5. ③
------	------	------	------	------

答案用紙

令和3年度 衛生管理者試験（横浜市） 2時間目（10:40～12:10）

受験 番号	
----------	--

（薬 物）

第1問

ア. ⑤	イ. ②	ウ. ③	エ. ①	オ. ④
----------	----------	----------	----------	----------

第2問

1. ○	2. ×	3. ○	4. ○	5. ×
----------	----------	----------	----------	----------

.....

（労働衛生法規）

第1問

1. ○	2. ○	3. ×	4. ×	5. ○
----------	----------	----------	----------	----------

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市）
（労働生理）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（10点）

第1問 次の人体の構成に関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

1. （ ）は中枢神経（脳と脊髄）と末梢神経で構成される。
2. 人体は各種類に分かれた細胞集団がそれぞれの機能を分担し、生命現象を営んでいる。この中で同一の機能を有する細胞の集まりを（ ）という。
3. 生体の皮膚や粘膜を被っている細胞は生体の保護や吸収、分泌を行っており（ ）と言われる。
4. 臓器を固定し、組織相互をつなぐものと、体を支持する骨や軟骨組織のことを（ ）という。
5. 筋肉組織には自分の意志で動かせる骨格筋と自分の意志にかかわらず動く（ ）に分けられる。

【語群】

A 上皮組織、 B 結合組織、 C 神経組織、 D 組織、 E 心筋・平滑筋

第2問 次の体温に関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

1. 身体で運動時もっとも熱産生量が多いのは（ ）である。
2. 体熱の放散は主に（ ）から行われ、その放散率は約90%を占める。
3. ヒトは極度の低温では直腸温が（ ）になれば、凍死することが多いが、逆に、高温で42℃以上になっても、うつ熱を来し死亡する。
4. 体液の水分が滲みだしてきて、皮膚の表面や呼気から絶えず蒸発することを不感蒸泄という。この水分量は1日（ ）程度である。
5. 体の臓器で産生された熱は（ ）で体全体に伝わり、一定の体温を保つ。

【語群】

①心臓、②骨格筋、③皮膚、④肺、⑤肝臓、⑥血液、⑦30℃以下、⑧33℃以下
⑨約300ml、⑩約900ml

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市）
（船内衛生）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（15点）

第1問 次の各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

- 船内衛生管理は、環境の整備、衛生用品や保護具などの整備、災害・疾病の記録、（1. ）を行うことである。
- 安全衛生教育は、各乗組員が安全衛生について（2. ）を深め、その意義をよく理解することによって、（3. ）や安全の向上を促す。そのためには、船内の労働と（4. ）の実態に即した教育が大切であり、船内で安全衛生上の（5. ）が生じたときに行うことが最も効果的である。

【語群】

A 経験、B 改善、C 問題、D 生活、E 娯楽
F 健康、G 安全衛生教育、H 知識、I 危険作業

第2問 次の文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

船では、機関室や調理室、熱帯での甲板上での高温作業では（1. ）になるおそれがある。また、日光や熱源からの（2. ）が強いときには、高温環境と同様になる。一方、寒冷時の甲板上、漁船の冷凍庫内等での低温作業では、手足が低温に暴露すると、（3. ）が収縮して、血行が悪くなるので動作がぎこちなくなり、能率が下がったり、動作を誤って（4. ）の原因になったりする。また、身体は局部的には凍傷になることがあり、全身的には（5. ）になることがある。

【語群】

感染症、毛細血管、中毒症状、熱中症、低体温症
消化器、紫外線、労働災害、輻射熱、過重労働

第3問 次の「疲労」に関する説明で最も適切なものを下の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。 (1点×5＝5点)

1. () 蓄積した疲労が長期間にわたるもので、蓄積疲労ともよばれる病的な疲労
2. () 作業意欲の減退や興味の喪失などを生じる疲労
3. () 身体や精神活動によりエネルギーや神経作用の資源が消費され、老廃物質が蓄積し、筋肉のだるさや痛みなどを生じる疲労
4. () 適切な休息により回復する一過性の疲労
5. () 全身の大きい筋群を動かすことで起こる疲労

【語群】

①精神疲労、②慢性疲労、③肉体疲労、④全身疲労、⑤急性疲労、⑥局所疲労

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市）
（食品衛生）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（10点）

第1問 次のビタミンに関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

1. （ ）は、止血と骨の維持に働く。これが含まれる主な食品は、緑黄色野菜である。
2. （ ）は、たんぱく質代謝に必要である。これが含まれる主な食品は、鮭、さんま、バナナである。
3. （ ）は、皮膚と粘膜を正常に保ち、免疫機能を維持する。これが含まれる主な食品はレバー、緑黄色野菜である。
4. （ ）は、カルシウムの吸収を助ける。これが含まれる主な食品は魚、乾燥きのこである。
5. （ ）は、糖質をエネルギーに換える。これが含まれる主な食品は、豚肉、うなぎ、大豆、玄米である。

【語群】

- ①ビタミンA、②ビタミンB1、③ビタミンB2、④ビタミンB6、⑤ビタミンB12、
⑥ビタミンD、⑦ビタミンE、⑧ビタミンK

第2問 次の各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

1. （ ） 穀類の主成分は糖質で80～90％含まれる。その他、たんぱく質、脂肪、ビタミンB群、リンなども含まれるが、カルシウム、鉄、ビタミンC・Aが少ない。
2. （ ） 砂糖類は、約90％は糖質である。エネルギー源などを主な役割とし、精製度が低いほどミネラルを含むが、その他の栄養素はほとんどない。
3. （ ） 豆類の主な栄養素はたんぱく質と脂質である。全般にカリウムやリンが多く、カルシウムは少ない。
4. （ ） 魚介類のたんぱく質の含有量は16～22％である。ビタミン類は、ビタミンB1やビタミンB2など水溶性ビタミンを多く含む。
5. （ ） 卵類は栄養価が高く、ビタミンC以外は各栄養素を多く含んでいる。特にたんぱく質のアミノ酸組成が優れているのが特徴である。

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市）
（疾病予防）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（15点）

第1問 次の生活習慣病に関する各文章中の（ ）に入る適切な語句を下の語群から選び、その語句を回答欄に記入せよ。（1点×10＝10点）

- II型糖尿病とは（1. ）からの（2. ）分泌低下や分泌された（2. ）の作用障害によりおこる慢性の高血糖を主徴とする（3. ）である。
- 高血圧は自覚症状がないため（4. ）などとよばれ、気付かないままにしておくと、脳、心臓、腎臓、下肢・頸動脈などの大動脈、眼底などの臓器障害や心血管病を引き起こす。
- 心血管病の危険因子の重要な因子として、（5. ）、（6. ）、（7. ）、（8. ）、（9. ）、（10. ）、心血管病の家族歴などの危険因子と重なるとより重大な全身への影響を与える。

※5～10は順不同

【語群】

心筋梗塞、がん、脳血管障害、腎症、膵臓、代謝疾患、グルカゴン、副腎

サイレントキラー、サイレントシックネス、喫煙、飲酒、高齢、中高年

偏食、脂質異常、睡眠過多、やせすぎ、摂食障害、肥満、糖尿病、消化器疾患

眼科疾患、脳疾患、精神疾患、メタボリックシンドローム、インスリン

第2問 メンタルヘルスについての記述で正しいものはどれか。正しいものに○を、そうでないものには×を回答欄に記入せよ。（1点×5＝5点）

- 【 】 1. 肉体的ストレスはメンタルヘルスに無関係である。
- 【 】 2. 日本の自殺者は先進国の中でも若い人で高い率を示している。
- 【 】 3. 自殺の予防のため、原因となる抑うつ状態の発症予防が重要である。
- 【 】 4. 気分が落ち込んでいる同僚に気づいても、そっとしておくべきである。
- 【 】 5. メンタルヘルスに関する相談は産業保健スタッフの職掌外である。

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市）
（保健指導）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（15点）

第1問 次の「やせ」に関する病気の説明で最も適切な病名を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。
（1点×5＝5点）

1. 戦前、戦後しばらく死亡原因でもっと多い病気で昭和40年ころから、よい治療薬が出て急激に減少したが、高齢者の痩せる感染症としてはまだ撲滅できていない。
（ ）
2. 悪性腫瘍で現在最も治療成績が悪く、早期発見が困難であり、病気が進行すると、どんどんやせてゆく。（ ）
3. 若い女性に多い内分泌疾患で、放置しておくと、動悸や発汗だけでなく、食べてもどんどん痩せてゆく。（ ）
4. 腸の炎症性疾患としては増加している免疫疾患で、鮮血や粘液が混じった便が繰り返し、徐々に体重が減少する。（ ）
5. 高血糖が長く続き、病気を放置しておくと、尿にどんどん糖が逃げてゆき、次第に痩せてゆく。この時点ですでに合併症が起きている。（ ）

【語群】

A 2型糖尿病、B AIDS（エイズ）、C バセドウ病、D 関節リウマチ
E うつ病、F 潰瘍性大腸炎、G 甲状腺機能低下症、H 脱水、I 肺結核
J 膵臓癌

第2問 次の各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。
(1点×4＝4点)

- () 1. 心臓マッサージでは胸骨の上半分に片方の手の基部をおき、もう一方の手を重ね合わせて、真上から垂直に力強く圧迫する。
- () 2. 頭蓋内病変を伴わない線状骨折（ひび）だけなら、特別な治療は不要だが骨の厚さ以上の陥没骨折は将来的にてんかんなどの脳障害の原因になるので、修復手術が必要である。
- () 3. 高齢者の場合、転倒などで頭部の打撲があった場合は、時間の経過で認知症の症状が出てくることがあり、このような時は慢性硬膜下血腫が出ていることもあるので必ず頭部のMRI検査をしておくことが重要である。
- () 4. 皮下骨折のような単純骨折の場合、骨折部の上下の関節を含めて、副木固定を行い、骨折部が動かないようにする。

第3問 無線医療相談において、全身状態を把握するために必要な項目（バイタルサイン）を下の語群から選び、回答欄にその語句を記載せよ。(1点×6＝6点)

- 1. ()
- 2. ()
- 3. ()
- 4. ()
- 5. ()
- 6. ()

※1～6は順不同

【語群】

心拍（脈拍）、めまい、呼吸、体温、捻挫、脱臼、血圧、意識、尿量、外傷打撲、やけど

令和4年度 衛生管理者試験（神戸）
（薬物）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（5点）

第1問 次のA群について、最も関連のあるものをB群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。
（0.5点×5＝2.5点）

【A 群】

- （ア）消化性潰瘍用剤 （ ）
- （イ）抗生物質製剤 （ ）
- （ウ）痔（じ）疾用剤 （ ）
- （エ）血管拡張剤 （ ）
- （オ）鎮咳剤 （ ）

【B 群】

- ①サワシリンカプセル 250mg
- ②ニトロペン舌下錠
- ③メジコン錠
- ④タケプロンOD錠 15mg
- ⑤強力ポステリザン軟膏

第2問 次の各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。
（0.5点×5＝2.5点）

1. （ ） アレルギー反応は、過剰反応とも呼ばれ、正常な身体組織を傷つける免疫系の反応である。一般的に、薬の副作用は用量が増えるに従って増加し、薬物に対してアレルギー反応がある人にも同じような用量－反応関係が成り立つ。
2. （ ） 麻薬及び向精神薬について、常備されている薬の中では、「ペンタゾシン製剤」がこれに該当する。
3. （ ） 時間が経てば薬物は代謝されていく。そのため、当然ながら薬物の血中濃度は徐々に減少していく。
4. （ ） 薬は吸収されて血液中に体内を循環します。血液の循環によって、薬は血液中から体の各組織への移動します。ほとんどの薬は吸収された後、体中に均一に広がっていく。
5. （ ） 唾液や汗、母乳、呼気（吐く息）にまで排泄される薬もある。

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市）

（労働衛生法規）

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

（5点）

第1問 次の船員の労働衛生法規に関する各文章中の（ ）の中に入る適切な語句を下の語群から選び、その番号を回答欄に記入せよ。

1. 清水の積み込む場合は、清浄なものを積み込まなければならない、かつ、これを衛生的に積み込み、及び保つために、清水用の元せん及びホースは、（ ）のものとしなければならない。
2. 伝染病の発生している地域又は発生するおそれのある地域におもむく場合は、（ ）の実施、衛生用品の整備、伝染病の予防に必要な注意事項に関する教育等感染防止のために必要な措置を講じなければならない。
3. 船内において伝染病又は伝染病の疑いのある疾病が発生した場合は、患者の（ ）、患者の使用した場所、衣服、器具等の消毒、なま水及びなま物の飲食の制限等伝染病防止のために必要な措置を講じなければならない。
4. 船員が常時5人以上である船舶の船舶所有者は、船内安全衛生委員会を設けなければならないが、船内安全衛生委員会の委員の構成として、船内の衛生に関し知識又は経験を有する海員のうちから（ ）が指名した者を委員としなければならない。
5. 医師及び衛生管理者が従事しなければならない業務には、「船員の（ ）及び保健指導に関すること」がある。

【語群】

- ①健康管理、②専用、③船長、④教育及び訓練
⑤隔離、⑥予防注射、⑦健康診断、⑧船舶所有者

答案用紙

令和4年度 衛生管理者試験（神戸） 1時間目（9:00～10:30）

受験 番号	
----------	--

（労働生理）

第1問

1. C	2. D	3. A	4. B	5. E
------	------	------	------	------

第2問

1. ②	2. ③	3. ⑦	4. ⑩	5. ⑥
------	------	------	------	------

（船内衛生）

第1問

1. G	2. H	3. F	4. D	5. C
------	------	------	------	------

第2問

1. 熱中症	2. 輻射熱	3. 毛細血管
--------	--------	---------

4. 労働災害	5. 低体温症
---------	---------

第3問

1. ②	2. ①	3. ③	4. ⑤	5. ④
------	------	------	------	------

答案用紙

令和4年度 衛生管理者試験（神戸） 1時間目（9:00～10:30）

受験 番号	
----------	--

（食品衛生）

第1問

1. ⑧	2. ④	3. ①	4. ⑥	5. ②
------	------	------	------	------

第2問

1. ×	2. ○	3. ○	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

受 験 番 号	
------------	--

（疾病予防）

第1問

1. 膵臓	2. インスリン
3. 代謝疾患	4. サイレントキラー
5. 喫煙	6. 高齢
7. 脂質異常	8. 肥満
9. 糖尿病	10. メタボリックシンドローム

※2～3は順不同

※5～10は順不同

第2問

1. ×	2. ○	3. ○	4. ×	5. ×
------	------	------	------	------

答案用紙

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市） 2時間目（10:40～12:10）

受験 番号	
----------	--

（保健指導）

第1問

1. I	2. J	3. C	4. F	5. A
------	------	------	------	------

第2問

1. ×	2. ○	3. ○	4. ○
------	------	------	------

第3問

1. 心拍（脈拍）	2. 呼吸	3. 体温
4. 血圧	5. 意識	6. 尿量

答案用紙

令和4年度 衛生管理者試験（神戸市） 2時間目（10:40～12:10）

受験 番号	
----------	--

（薬 物）

第1問

ア. ④	イ. ①	ウ. ⑤	エ. ②	オ. ③
------	------	------	------	------

第2問

1. ×	2. ○	3. ○	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

.....

（労働衛生法規）

第1問

1. ②	2. ⑥	3. ⑤	4. ⑧	5. ①
------	------	------	------	------

令和5年度 衛生管理者試験（横浜市）
(労働生理)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(10点)

第1問 次の各器官に対する交感神経と副交感神経の作用について、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

- | | | |
|------------|---------------|----------------|
| 1. () 瞳孔 | 交感神経：散大 | 副交感神経：縮小 |
| 2. () 心臓 | 交感神経：末梢血管収縮 | 副交感神経：末梢血管拡張 |
| 3. () 膀胱 | 交感神経：排尿促進 | 副交感神経：排尿抑制 |
| 4. () 肝臓 | 交感神経：グリコーゲン合成 | 副交感神経：グリコーゲン分解 |
| 5. () 気管支 | 交感神経：拡張 | 副交感神経：収縮 |

第2問 次の各文章の【 】内の①～③から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

- 骨の代謝に係わるホルモンとしては、上皮小体ホルモン、甲状腺から出されるカルシトニンがあり、他に【①活性型ビタミンD ②ビタミンB6 ③ビタミンB12】なども骨代謝に影響を与える。
- 筋肉疲労については、疲労物質として【①カルシウム ②乳酸 ③ビリルビン】の蓄積が主な原因と考えられている。
- 神経系を中枢神経と末梢神経の2つに分けた場合、【①脳髄 ②脊髄 ③脳神経】は末梢神経に分類される。
- 私たちの身体に生まれながらに備わっている免疫反応を【①獲得免疫 ②自然免疫 ③体液性免疫】という。
- 夢をみることが多いのは、【①レム睡眠 ②ノンレム睡眠 ③深睡眠】の時である。

令和5年度 衛生管理者試験(横浜市)
(船内衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の職場のストレスに関する文章の【 】に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

ストレスという用語は、元々物理学の分野で使われていたもので、物体の外側からかけられた圧力によって歪みが生じた状態をいう。ストレス反応を起こす外部環境からの刺激を【1. 】と呼ぶ。ストレス状態が持続すると、通常の均衡状態が保てない状態に陥る。職場では、ストレス状態を早期に感知して、【1. 】を生んでいる原因を探り出し、役割の変更や【2. 】の改善などによって取り除く必要がある。そのためには、カウンセラーや周囲の人の支援が有効な場合が多い。

人にはストレスに対処する能力が具わっており、心身状態を平常に戻すことができるが、この能力には【3. 】、物事の考え方や感じ方を変えたり、気分転換をよくしたり、心理的な訓練を行ったりして強くすることができる。

ストレス対策として、【4. 】は有効であり、【1. 】に対する抵抗力を強める一方、【5. 】は、即効的に緩和するが、効果は一時的である。

【語群】

ア：アルコールやカラオケ イ：人間関係 ウ：アレルギー エ：報酬
オ：ストレッサー カ：運動や趣味 キ：個人差はなく ク：個人差があり
ケ：プレッシャー

第2問 次の騒音に関する文章の【 】に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

船では、機関室等の騒音作業現場において、大きなレベルの騒音に長年暴露されていると、徐々に音が聞こえなくなる騒音性難聴が起こる。

はじめは【1. 】音が聞き取りにくくなり、次第に【2. 】音にも及ぶ。この難聴は【3. 】に質的病変が起こり、治療による聴力の回復は望めないので予防が重要である。

難聴の発生のおそれがあるときの予防対策としては、耳栓、イヤーマフの装着が必要であるが、【4. 】に合格したものから慎重に選択する必要がある。低音から高音まで全体的に音を弱める1種と、主として高音を弱める2種があるが、船舶用としては【5. 】を選択する方がよい。

【語群】

ア：低 イ：中 ウ：高 エ：大 オ：外耳 カ：内耳 キ：JAS 規格
ク：JIS 規格 ケ：1種 コ：2種

第3問 次の特定化学物質に関する文章の【 】に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

特定化学物質のうち、【1. 】物質は、硫酸や苛性ソーダなど強酸、強アルカリの物質で、接触した皮膚や粘膜を溶かすほか、【2. 】や【3. 】で組織を壊死させ、薬傷をもたらす。

また、【4. 】物質は、アンモニアガスや塩素ガスなどで、触れた粘膜や肺の気道を刺激し、涙や鼻汁が出るほか、肺では気道や肺胞が【5. 】で占められて呼吸困難に陥る。

※2、3は順不同

【語群】

ア：刺激性 イ：揮発性 ウ：重金属 エ：腐食性 オ：薬液
カ：脱水作用 キ：反応熱 ク：冷却作用 ケ：気化熱 コ：分泌液

令和5年度 衛生管理者試験(横浜市)

(食品衛生)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(10点)

第1問 次のビタミンに関する文章の【 】に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

ビタミンには、水に溶ける水溶性ビタミンと油に溶けやすい脂溶性ビタミンがある。ビタミンは、体内ではほとんど合成することができないため、食物から摂取する必要がある。

ビタミンのうち【1. 】は、過剰に摂っても排泄されるが、【2. 】は体内に貯蔵され、摂りすぎると頭痛や吐き気など過剰症がでることがあるため注意が必要である。

ビタミンAは、動物性の【3. 】と色素の一種である【4. 】があり、前者の過剰症として代表的なのは妊婦の流産のリスクが高いことである。ビタミンAを含む主な食品として【5. 】や緑黄色野菜などがある。

【語群】

ア：βカロテン イ：脂溶性ビタミン ウ：レチノール エ：免疫機能
オ：水溶性ビタミン カ：γカロテン キ：不溶性ビタミン ク：αカロテン
ケ：青魚 コ：レバー サ：ポリフェノール

第2問 次のミネラルの主な作用について、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. ()リン：胃液中にあり、消化を促進する。
2. ()カリウム：細胞内液の浸透圧を調整して一定に保つ働きがある。心臓や筋肉の機能を調節する。
3. ()カルシウム：骨や歯を形成し、神経の興奮を抑制する。不足すると骨粗鬆症の原因にもなる。
4. ()ナトリウム：リンやカルシウムとともに骨を形成し、体内のさまざまな代謝を助ける機能を持つ。約300種類の酵素反応を活性化する働きがある。
5. ()鉄：赤血球のヘモグロビンに多く存在する。不足すると貧血を起こす。

令和5年度 衛生管理者試験（横浜市）
(疾病予防)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の高血圧に関する文章の【 】に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。
(1点×5=5点)

高血圧とは、血管に過度の圧力がかかっている状態をいい、日本人のおよそ【1. 】が高血圧という状況である。日本高血圧学会の高血圧診断基準では、診察室での【2. 】が140mmHg以上、または【3. 】が90mmHg以上の場合に高血圧と診断される。高血圧が長く続くと動脈硬化が進行し、脳血管障害（脳卒中）や狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の危険因子となる。

高血圧の予防に欠かせないのは【4. 】摂取量の制限である。日本人の成人1日あたりの摂取量は10g程度であるが、日本人の食事摂取基準(2020年版)の目標量では、成人男性で7.5g未満、成人女性で6.5g未満とされている。また、日本高血圧学会は、高血圧患者における目標量を一日6g未満にすることを強く推奨している。また、野菜や果物を多く取ったり、【5. 】、節酒、禁煙などに取り組むことが重要である。

【語群】

ア：3人に1人 イ：7人に1人 ウ：収縮期血圧 エ：拡張期血圧
オ：食塩 カ：タンパク質 キ：アルコール ク：有酸素運動 ケ：無酸素運動

第2問 次の高尿酸血症に関する文章の【 】に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。
(1点×5＝5点)

高尿酸血症は【1. 】が7mg/dLを超える場合をいう。尿酸値が高いだけでは自覚症状がないが、放置すると【2. 】、尿路結石、腎機能障害の原因となる。高尿酸血症がある人では、高血圧、脂質異常症、高血糖とも密接な関連が指摘されている。【1. 】が9.0mg/dLの場合と、8mg/dL以上で合併症のある場合は【3. 】の対象になる。

高尿酸血症の生活指導としては、食事療法、飲酒制限、運動の推奨が基本となる。【4. 】は1日の摂取量が多いほど尿酸値を上昇させる。また、強い負荷の【5. 】は尿酸値を上昇させる。

【語群】

ア：血中の尿酸値 イ：尿中の尿酸値 ウ：痛風発作 エ：パーキンソン病
オ：アルコール カ：水分 キ：薬物治療 ク：入院治療 ケ：有酸素運動
コ：無酸素運動

第3問 次のがんの性質に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。
(1点×5＝5点)

1. () がん細胞は無秩序に増え続ける。
2. () がん細胞は周辺細胞の停止命令を無視して分裂を繰り返す。
3. () がん細胞は一定量の傷がつくと自己崩壊する。
4. () がん細胞は生き残るため二酸化炭素と栄養素を求め、近くの血管を引き込み新しい血管枝を作る。
5. () がん細胞はテロメアを再生し永遠に細胞分裂する。

令和5年度 衛生管理者試験（横浜市）
(保健指導)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(15点)

第1問 次の疾病に関する症状として、各文章の【 】内の①～③から、正しいものを1つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 発熱、腰痛、頻尿を訴える者がいた場合、まずは【①肺炎 ②腎盂腎炎 ③マラリア】を疑う。
2. 急激に発症した頭痛と吐き気（嘔吐）を訴える者がいた場合、原因として考えにくいのは【①くも膜下出血 ②急性緑内障 ③腸チフス】である。
3. 前胸部を締め付けられる感じが30分以上続く場合は、【①心筋梗塞 ②胸膜炎 ③胃潰瘍の穿孔】を疑う。
4. 下腹部右寄りの腹痛が持続する場合には、【①逆流性食道炎 ②急性虫垂炎 ③胆石症】を疑う。
5. 喘鳴を伴う呼吸困難では、【①急性咽頭炎 ②肺結核 ③気管支喘息発作】を疑う。

第2問 次の各文章の【 】に入る適切な語句を下の語群から選び、その記号を回答欄に記入せよ。(1点×5=5点)

1. 打撲、ねん挫に対して、急性期（受傷直後～3日目）には【 】のが原則である。
2. 骨折が皮膚を破り外界と交通している状態を、【 】と呼ぶ。
3. 軽微な頭部外傷後数週間を経て認知症の症状が出現した場合、【 】を疑う。治癒可能な認知症であるため、適切な検査や治療を受けることが重要である。
4. 高所からの転落などで【 】を損傷すると、四肢麻痺がおこる。
5. 顔面の熱傷においては、受傷面積が小さくても、【 】による呼吸困難が起きることがあり、注意が必要である。

【語群】

ア：温める	イ：腰椎	ウ：皮下骨折	エ：開放骨折	オ：冷やす
カ：レビー小体型認知症	キ：喉頭浮腫	ク：単純骨折	ケ：慢性硬膜下血腫	
コ：頸椎				

第3問 次の熱傷に関する各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。(1点×5＝5点)

1. () 熱傷の重症度は広さ(受傷面積)と深さなどから総合的に判断する。
2. () 熱傷の広さが体表面積のおおよそ何%かを知るには、成人では「11の法則」を知っていると便利である。
3. () 熱傷の深度は表面の色調から第1度～第4度に分類できる。
4. () 第2度の熱傷では皮膚に大小の水疱ができ、表皮だけでなく真皮にも傷害が及ぶ。
5. () 重症の熱傷とは体表面積で言うと、15%以上をいい、30%を超えると生命に危険が及ぶ。

(薬物)

令和5年度 衛生管理者試験（横浜市）
(薬物)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(5点)

第1問 次の各文章で、正しいものには○を、誤っているものには×を回答欄に記入せよ。

(1点×5=5点)

1. () 毒薬も劇薬も鍵のかかる棚に保管しなければならない。
2. () プロドラッグとは、食事によって十分摂りきれていない栄養素を補うための補助食品を総称したものを指す。
3. () 同じ時間帯に複数の薬を服用すると、薬の効果が他の薬との相互作用によって変化することがあるので注意が必要である。
4. () 皮下注射は物理的に少量の薬液しか投与できないが、比較的長時間の薬効を期待して選ばれる。
5. () 薬の主作用とは治療にとって有益な作用のことを指し、副作用は、薬の主作用以外の作用のことを指す。

令和 5 年度 衛生管理者試験 (横浜市)
(労働衛生法規)

※解答はすべて答案用紙に記入しなさい。

(5 点)

第 1 問 次の各文章の【 】の①～④から、正しいものを 1 つ選び、その番号を回答欄に記入せよ。
(1 点×5＝5 点)

1. 船員労働安全衛生規則第 10 条の 2 第 1 項の規定により、常時【①10 ②30 ③50 ④100】人以上の船員を使用する船舶所有者は、船員の健康管理等を行わせるため、労働者の健康管理等を行うのに必要な医学に関する専門的知識を備えた医師のうちから産業医を選任しなければならない。
2. 船員労働安全衛生規則第 10 条の 8 の規定により、船舶所有者は、産業医に対し、船内の作業環境及び衛生状態を把握させ、作業方法又は衛生状態に有害のおそれがあるときは、船員の健康障害を防止するため必要な措置を講じさせるため、安全担当者、医師、衛生管理者又は衛生担当者が行った船内の巡視の結果を少なくとも【①毎月 1 回 ②三月に 1 回 ③六月に 1 回 ④毎年 1 回】、産業医へ提供しなければならない。
3. 船員法施行規則第 53 条第 1 項第 2 号の規定により、衛生管理者の乗り組みが必要な遠洋区域又は近海区域を航行区域とする総トン数 3,000 トン以上の船舶（医師を乗り組まなければならない船舶を除く。）に備え付けなければならない医薬品その他の衛生用品（以下「医薬品等」という。）は、船員法施行規則第 53 条第 1 項に掲げる船舶に備え付ける医薬品等の数量を定める告示に規定する【①甲種 ②乙種 ③丙種 ④丁種】衛生用品表に定める医薬品等である。
4. 船員労働安全衛生規則第 50 条第 1 号の規定により、船舶所有者は、人体に有害な気体が発散するおそれのある場所又は酸素が欠乏するおそれのある場所において作業を行わせる場合は、作業を開始する前に、及び作業中少なくとも【①5 分 ②10 分 ③20 分 ④30 分】に 1 回、当該場所における人体に有害な気体又は酸素の量について検知を行い、人体に危害を及ぼすと認められた場合は、換気しなければならない。
5. 船員法第 80 条第 3 項の規定により、食料の支給は、遠洋区域若しくは近海区域を航行区域とする船舶で総トン数【①700 トン ②1,000 トン ③2,000 トン ④3,000 トン】以上のもの又は国土交通省令で定める漁船に乗り組む船員に支給する場合にあっては、国土交通大臣の定める食料表に基づいて行わなければならない。

答案用紙

令和5年度 衛生管理者試験（横浜市） 1時間目（9:00～10:30）

受験
番号

（労働生理）

第1問

1. ○	2. ○	3. ×	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

第2問

1. ①	2. ②	3. ③	4. ②	5. ①
------	------	------	------	------

（船内衛生）

第1問

1. オ	2. イ	3. ク	4. カ	5. ア
------	------	------	------	------

第2問

1. ウ	2. ア	3. カ	4. ク	5. ケ
------	------	------	------	------

第3問 ※2、3は順不同

1. エ	2. カ or キ	3. カ or キ	4. ア	5. コ
------	-----------	-----------	------	------

答案用紙

令和 5 年度 衛生管理者試験（横浜市） 1 時間目（9:00～10:30）

受 験 番 号	
------------	--

（食品衛生）

第 1 問

1. オ	2. イ	3. ウ	4. ア	5. コ
---------	---------	---------	---------	---------

第 2 問

1. ×	2. ○	3. ○	4. ×	5. ○
---------	---------	---------	---------	---------

答案用紙

令和5年度 衛生管理者試験（横浜市） 2時間目（10:40～12:10）

受験 番号	
----------	--

（疾病予防）

第1問

1. ア	2. ウ	3. エ	4. オ	5. ク
------	------	------	------	------

第2問

1. ア	2. ウ	3. キ	4. オ	5. コ
------	------	------	------	------

第3問

1. ○	2. ○	3. ×	4. ×	5. ○
------	------	------	------	------

（保健指導）

第1問

1. ②	2. ③	3. ①	4. ②	5. ③
------	------	------	------	------

第2問

1. オ	2. エ	3. ケ	4. コ	5. キ
------	------	------	------	------

第3問

1. ○	2. ×	3. ×	4. ○	5. ×
------	------	------	------	------

答案用紙

令和5年度 衛生管理者試験（横浜市） 2時間目（10:40～12:10）

受験 番号	
----------	--

（薬 物）

第1問

1. ×	2. ×	3. ○	4. ○	5. ○
------	------	------	------	------

.....

（労働衛生法規）

第1問

1. ③	2. ①	3. ②	4. ④	5. ①
------	------	------	------	------